

# 夢窓幼稚園通信第58号

2024年 12月 18日

私をはじめ 夢窓幼稚園を訪ねた 今から40年程前、  
ここには 6本の 桜の木がありました。

その内の3本は今はありません。

2本は西側の通りに立っていて その1本は6本中で一番大きな  
桜でした。2本共 駐車スペースを作るために身を捧げて  
くれました。

園庭にあったもう1本は、今と同じ場所にあった 前の「おもちゃ  
倉庫」が作られるときに切られ、その幹や枝の皮でたくさんの  
草木染のスカートができました。

残っている3本の桜も だいぶ老いてきました。

3本の中で一番大きかった まん中の木は、高い所からロープを  
園會の方に張って滑車とブランコのイスを取り付け、子どもたちを  
楽しませてくれたり、いつでも子どもたちの泣いたり笑ったりする  
姿を見守ってきてくれました。

傷んだ枝先を繰り返し切り落とし、ずいぶん小さくなって  
しまいましたが、堅いきのこの寄生が見られ弱ってきた様子  
なので 植木屋さんに相談し、来年2月半ばに安全を考慮  
切り倒すことにしました。

ひとつひとつ すべてのものは、宿題する深い意味が  
あり、役割が与えられているのでしょ。

今年もクリスマスを経験し、桜の半世紀を想う会、あらためて  
「ここに生きる」ということは 神々から託されている」という  
ことなのだと感じました。

クリスマスを共に お祝いできたことに、心より感謝申し  
上げます。

2学期、まだ 預かり保育は数日ありますが、ここまで歩いて  
くれました。ほんとうにありがとうございました。

園長 弁光 泰雄

来年のカレンダーを 今日 持ち帰りました。  
それぞれ子どもたちが 夢見ながら描いた  
水彩画の付いたカレンダーです。

どうぞ お楽しみ下さい。

来る年がよき年でありますように！